

コンピュータチェック事例コード

48SJ991227401

コンピュータチェック内容

同日に創傷処置が2回以上算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

同一疾病又はこれに起因する病変に対して創傷処置、皮膚科軟膏処置又は湿布処置が行われた場合は、それぞれの部位の処置面積を合算し、その合算した広さを、いずれかの処置に係る区分に照らして算定するものとし、併せて算定できないとされています。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 63.47%

➤ 検証対象都道府県 47

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	高知、山形、愛知、三重、徳島、岐阜、長野、佐賀、香川、山梨、宮崎、山口、島根、静岡、奈良、鹿児島	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	高知、三重、愛知、佐賀、島根、鹿児島、岐阜、徳島、宮崎、大分、熊本、静岡、長崎、奈良、福岡、和歌山	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	山梨、高知、山形、新潟、山口、長崎、香川、長野、岩手、群馬、福岡、宮城、鹿児島、岐阜、鳥取、徳島	//

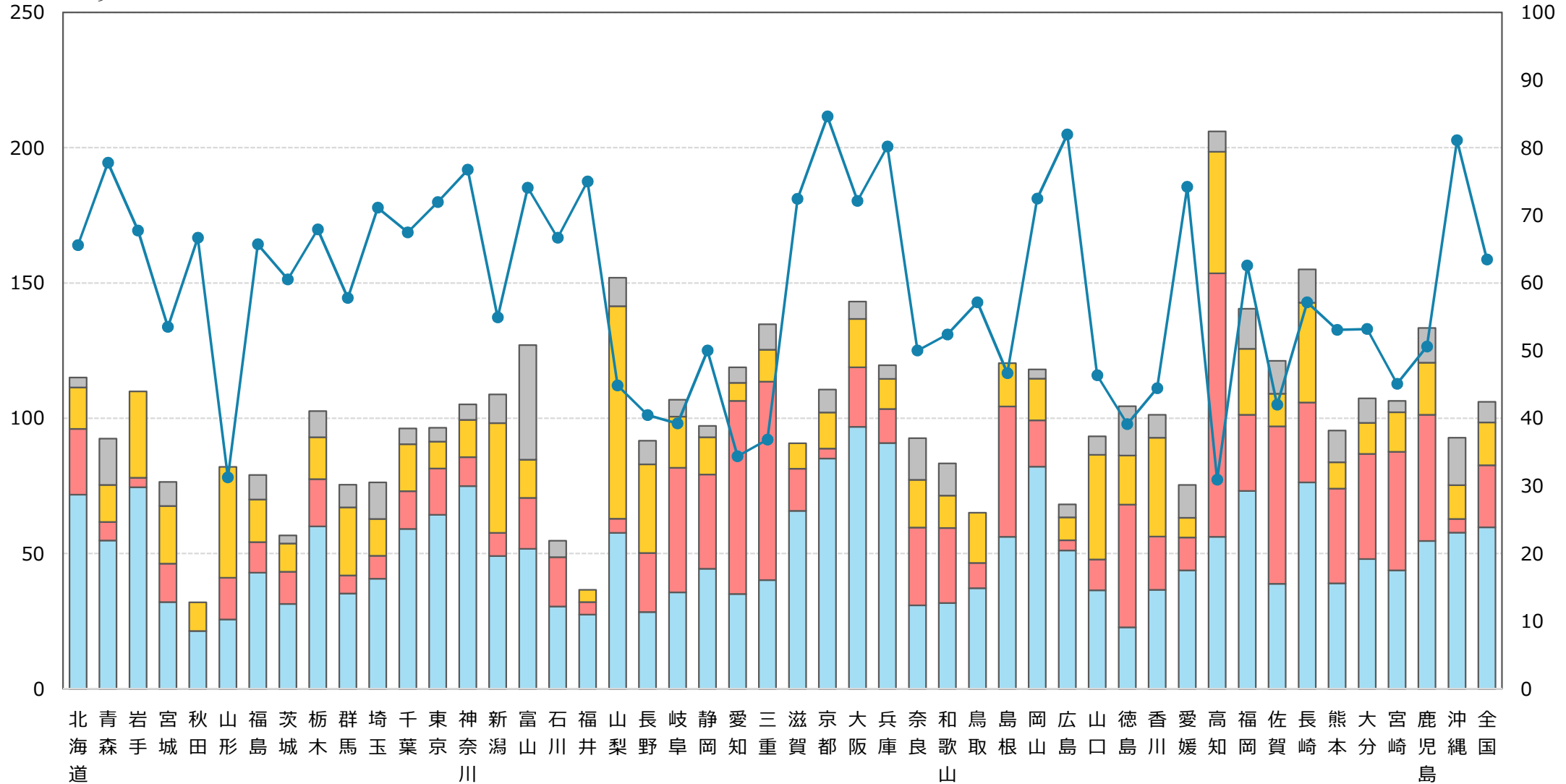
※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	4,251件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,698件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,553件

目視1万件当たり
該当件数

■ 査定
■ 請求どおり・職員
■ 請求どおり・審査委員
■ 返戻
● 査定・返戻割合（右軸）

2025年2月～2025年4月審査分 (%)



【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数